

# 経費支弁書

日本国法務大臣殿  
名古屋YMCA日本語学院校長殿

学生姓名：\_\_\_\_\_ 学生国籍：\_\_\_\_\_

生年月日：\_\_\_\_\_年\_\_\_\_\_月\_\_\_\_\_日 (男・女)

私は、このたび上記の者が日本に入国した場合、在留中の経費支弁者になりましたので、下記のとおり経費支弁の引き受け経緯を説明するとともに、経費支弁について証明します。

## 記

1. 経費支弁の引き受け経緯（申請者の経費支弁を引き受けた経緯および申請者との関係について具体的に記載して下さい。）スペースが足りない時は、別紙を添付して詳しくご説明下さい。

---

---

---

## 2. 経費支弁内容

私\_\_\_\_\_は上記の者の日本国滞在について、下記のとおり経費支弁することを証明します。また、上記の者が在留期間更新許可申請の際には、送金証明書又は本人名義の預金通帳(送金事実、経費支弁事実が記載されたもの)の写し等で、生活費等の支弁事実を明らかにする書類を提出します。

(1) 学費 : 2年 ・ 1.5年 ・ 1年 ・ 6ヶ月 \_\_\_\_\_ 円

(2) 生活費 : \_\_\_\_\_ 月額 \_\_\_\_\_ 円

(3) 支弁方法 (送金・振込等支弁方法を具体的に書いてください。)

---

---

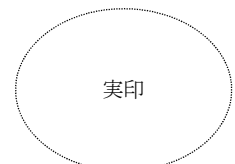
年 月 日

経費支弁者： 住所 郵便番号 ( )

電話 \_\_\_\_\_

姓名 ( 署名 ) \_\_\_\_\_

学生との関係 \_\_\_\_\_



# 経費支弁書記入上の注意

## 1. 引受経緯

- \* 申請者の父母である場合は、経済状況や支弁能力について説明してください。
- \* 申請者との関係が3親等以内の親族である場合は、父母等ではなくなぜ自分が支弁するのか説明してください。
- \* 申請者との関係が3親等を超える親族の場合、および親族関係でない場合は、特に申請者と知り合った時期と経緯、現在の申請者との関係、経費支弁を引き受けた理由等、詳しくご記入ください。

## 2. 内容：学費の欄には、どの期間ごとに学費を支払うかをご記入ください。

### 1) 学費 / School Expenses (JPY) :

① 入学金 ￥80,000

② 授業料 (教材費含む)

	2年	1.5年	1年	6ヶ月
日本語一般コース	¥1,248,000	¥936,000	¥624,000	¥312,000

2) 生活費：月額負担額を記入してください。保証人宅に同居する場合は、食費・住居費が少なくなりますが、賃貸住宅の場合はその家賃・光熱費・食費等が必要となります。名古屋での平均的な金額をもとに、学生が不自由なく生活できる金額を決めてください。また、学生のアルバイト収入を生活費とする場合は認められません。

3) 支弁方法 (例)：初回\_\_\_年分の学費は入学前に学校指定口座に振り込みます。

その後の学費及び日本入国後の生活費は、学生名義の銀行口座を開設し、定期的を送金いたします。

※日本語以外の言語で記入された経費支弁書には、日本語訳を別途添付願います。